

先端技術科学教育部(博士後期課程)
物質生命システム工学専攻 生命テクノサイエンスコース
カリキュラムマップ

ディプロマポリシー	1 年 次 ~ 3 年 次
1. 専門知識の自立的学習能力と活用能力 生命科学研究の基礎として生命科学の幅広い分野を自立的に学習・理解し、それを応用する能力を有する。	人間工学 生命科学 知的財産論 生命テクノサイエンス特別研究
2. 生命科学技術者倫理の理解と活用能力 生物の多様性や生物工学技術が生物及び地球環境に与える影響を理解し、健全な社会や環境の保全・創造に寄与する能力を修得している。	資源エネルギー変換特論 微生物分子論 遺伝情報工学 細胞情報工学 生命テクノサイエンス特別研究 生体分子機能設計 生体機能工学 分子病原微生物論 酵素機能工学
3. 問題分析力と解決能力 主として生物工学的な視点から、現代社会が直面する種々の問題を論理的かつ明確に分析し、それを解決する能力を有する。	社会科学 技術経営特論 課題探求法(D) 生命テクノサイエンス特別研究 科学技術論 ビジネスモデル特論 長期インターンシップ(D) 生命テクノサイエンス特別演習 ニュービジネス特論 企業行政演習(D)
4. 論理的コミュニケーション能力と情報発信能力 問題点の把握・分析・解決策立案の過程を論理的に表現して伝え議論するコミュニケーション能力を有する。また、研究成果等の情報を分かり易く社会に発信できる能力を有する。	国際先端技術科学特論1 長期インターンシップ(D) 生命テクノサイエンス特別研究 国際先端技術科学特論2 プレゼンテーション技法(D)
5. 国際的貢献能力 豊かで健全な国際社会構築のための国際交流や国際協力に積極的に寄与できる能力を有する。	国際先端技術科学特論1 国際先端技術科学特論2
6. リーダーシップ能力 生命科学の課題解決と発展にリーダーシップを發揮できる能力を有する。	長期インターンシップ(D)